

(監督員用)

委託業務成績採点の審査項目の審査項目別運用表

〔記入方法〕 審査項目細別の a, b, c のどれか1つを選択し、評定欄に記入してください。

【工事監理業務】

項 目	細 別	加 点 要 素 a	加 減 点 な し b	減 点 要 素 c	評 定
1業務の実施計画段階	I 業務の理解	監理業務の目的と趣旨を十分理解していた。	a, cに該当しない場合。	監理業務の目的と趣旨についての理解が不十分であった。	b
	II 事前準備 (1)	設計の目的と内容を十分理解し、把握していた。	a, cに該当しない場合。	設計の目的と内容についての理解、把握が不十分であった。	b
	事前準備 (2)	関連する法令や資料、打合せの経緯をよく把握していた。	a, cに該当しない場合。	関連する法令や資料、打合せの経緯の把握が不十分であった。	b
	III 打合せ協議	工事の準備段階から十分に打合せや協議が行われていた。	a, cに該当しない場合。	工事の準備段階から打合せや協議が不十分であった。	b
	IV 業務実施計画書	業務に応じた適切な監理体制であった。	a, cに該当しない場合。	業務に応じた適切な監理体制とはいえなかった。	b
2業務の遂行計画	I 打合せ協議 (1)	関係者並びに関係機関との連絡打合せは、必要に応じた頻度で行われていた。	a, cに該当しない場合。	関係者並びに関係機関との連絡打合せの頻度が不十分であった。	b
	打合せ協議 (2)	関係者並びに関係機関との連絡打合せは、正確で丁寧であった。	a, cに該当しない場合。	関係者並びに関係機関との連絡打合せの正確さや丁寧さが不足していた。	b
	II 工程管理 (1)	施工者に対する指導は的確に行われていた。	a, cに該当しない場合。	施工者に対する指導に不適格な点があった。	b
	工程管理 (2)	施工者に対する指導は良心的であった。	a, cに該当しない場合。	施工者に対する指導は良心的でなかった。	b
	III 照査	工事の状況に即した適切な勤務状況であった。	a, cに該当しない場合。	工事の状況に即した適切な勤務状況でなかった。	b
	IV 技術力	業務に応じた十分な技術力を発揮していた。	a, cに該当しない場合。	業務に応じた十分な技術力が発揮されなかった。	b
	V 目的の達成度	業務に対する熱意が感じられ、また誠実な態度で臨んでいた。	a, cに該当しない場合。	業務に対する熱意が感じられず、また誠実でない面があった。	b
3業務の成果品	I とりまとめ (1)	必要書類は良く整理され、提出書類も遅滞なく処理されていた。	a, cに該当しない場合。	必要書類の整理が不十分で、提出書類の処理が遅れがちであった。	b
	とりまとめ (2)	設計の趣旨を細部にわたって施工に反映することができた。	a, cに該当しない場合。	設計の趣旨が十分に施工に反映されなかった。	b
	とりまとめ (3)	適切な監理により施工が適切に行われた。	a, cに該当しない場合。	監理が不適切であったために適切な施工に資することができなかった。	b

(担当係長用)

委託業務成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】 審査項目細別の a, b, c のどれか1つを選択し、評価欄に記入してください。

【工事監理業務】

項 目	細 別	加 点 要 素 a	加 減 点 な し b	減 点 要 素 c	評 定
1業務の実施計画段階	I 業務の理解	監理業務の目的と趣旨を十分理解していた。	a, cに該当しない場合。	監理業務の目的と趣旨についての理解が不十分であった。	b
	II 事前準備 (1)	設計の目的と内容を十分理解し、把握していた。	a, cに該当しない場合。	設計の目的と内容についての理解、把握が不十分であった。	b
	事前準備 (2)	関連する法令や資料、打合せの経緯をよく把握していた。	a, cに該当しない場合。	関連する法令や資料、打合せの経緯の把握が不十分であった。	b
	III 打合せ協議	工事の準備段階から十分に打合せや協議が行われていた。	a, cに該当しない場合。	工事の準備段階から打合せや協議が不十分であった。	b
	IV 業務実施計画書	業務に応じた適切な監理体制であった。	a, cに該当しない場合。	業務に応じた適切な監理体制とはいえなかった。	b
2業務の遂行計画	I 打合せ協議 (1)	関係者並びに関係機関との連絡打合せは、必要に応じた頻度で行われていた。	a, cに該当しない場合。	関係者並びに関係機関との連絡打合せの頻度が不十分であった。	b
	打合せ協議 (2)	関係者並びに関係機関との連絡打合せは、正確で丁寧であった。	a, cに該当しない場合。	関係者並びに関係機関との連絡打合せの正確さや丁寧さが不足していた。	b
	II 工程管理 (1)	施工者に対する指導は的確に行われていた。	a, cに該当しない場合。	施工者に対する指導に不適格な点があった。	b
	工程管理 (2)	施工者に対する指導は良心的であった。	a, cに該当しない場合。	施工者に対する指導は良心的でなかった。	b
	III 照査	工事の状況に即した適切な勤務状況であった。	a, cに該当しない場合。	工事の状況に即した適切な勤務状況でなかった。	b
	IV 技術力	業務に応じた十分な技術力を発揮していた。	a, cに該当しない場合。	業務に応じた十分な技術力が発揮されなかった。	b
	V 目的の達成度	業務に対する熱意が感じられ、また誠実な態度で臨んでいた。	a, cに該当しない場合。	業務に対する熱意が感じられず、また誠実でない面があった。	b
3業務の成果品	I とりまとめ (1)	必要書類は良く整理され、提出書類も遅滞なく処理されていた。	a, cに該当しない場合。	必要書類の整理が不十分で、提出書類の処理が遅れがちであった。	b
	とりまとめ (2)	設計の趣旨を細部にわたって施工に反映することができた。	a, cに該当しない場合。	設計の趣旨が十分に施工に反映されなかった。	b
	とりまとめ (3)	適切な監理により施工が適切に行われた。	a, cに該当しない場合。	監理が不適切であったために適切な施工に資することができなかった。	b

(検査員用)

委託業務成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】 審査項目細別の a, b, c のどれか1つを選択し、評定欄に記入してください。

【工事監理業務】

項目	細別	加 点 要 素 a	加 減 点 な し b	減 点 要 素 c	評 定
1業務の実施計画段階	I 業務の理解 (1)	監理業務の目的と趣旨を十分理解していた。	a, cに該当しない場合。	監理業務の目的と趣旨についての理解が不十分であった。	b
	業務の理解 (2)	設計の目的と内容を十分理解し、把握していた。	a, cに該当しない場合。	設計の目的と内容についての理解、把握が不十分であった。	b
2業務の遂行計画	I 技術力 (1)	業務に応じた十分な技術力を有していた。	a, cに該当しない場合。	業務に応じた十分な技術力がなかった。	b
	技術力 (2)	事前の準備を業務に反映し、適切に業務を遂行していた。	a, cに該当しない場合。	事前の準備を業務に十分に生かせなかった。	b
3業務の成果品	I 技術力 (1)	必要書類は良く整理され、提出書類も遅滞なく処理されていた。	a, cに該当しない場合。	必要書類の整理が不十分で、提出書類の処理が遅れがちであった。	b
	技術力 (2)	必要書類は丁寧に作成され、内容は正確なものであった。	a, cに該当しない場合。	必要書類の作成は丁寧でなく、内容は正確でない部分があった。	b
	II とりまとめ (1)	設計の趣旨を細部にわたって施工に反映することができた。	a, cに該当しない場合。	設計の趣旨が十分に施工に反映されなかった。	b
	とりまとめ (2)	指導に基づく施工上の工夫が多く見られた。	a, cに該当しない場合。	指導に基づく施工上の工夫があまり見られなかった。	b
	とりまとめ (3)	適切な監理により工事の出来栄へに貢献した。	a, cに該当しない場合。	監理が適切でなく工事の出来栄への貢献が不十分であった。	b
	とりまとめ (4)	適切な監理により手戻りなどがなく、施工がスムーズに行われた。	a, cに該当しない場合。	監理が不適切であったために施工がスムーズに進まないことがあった。	b
	III 照査 (1)	業務に臨む姿勢が丁寧であり、工事の進行に貢献していた。	a, cに該当しない場合。	業務に臨む姿勢が丁寧でなく、工事の進行に貢献できなかった。	b
	照査 (2)	業務に臨む態度が熱心で誠実であった。	a, cに該当しない場合。	業務に臨む態度が熱心でなく誠実でない点があった。	b